

「電卓」の大会で、日本で1番になった高校生が仙台にいます

河北新報やさしい日本語ニュース 2024年8月21日

「電卓」は、計算をする時に使う便利な機械です。毎年、日本では、この電卓を使った試験があります。2023年度(2023年4月～2024年3月)に試験を受けたのは1093人でした。その中で1番になった人が仙台にいます。仙台商業高校3年生の八島舞衣さん(18歳)です。

試験は、易しいものから難しいものまで5種類あります。八島さんが受けたのは、一番難しい試験です。数も多くて、1000億までの計算をします。問題数は160あります。これを50分で答えなければなりません。答えが全部正しければ1000点になって、「名人」になることができます。八島さんは960点でした。それで、「名人」の前の「十段」になることができました。

八島さんが電卓を使い始めたのは、仙台商業高校に入った後です。子どもの頃から使っていたのは「そろばん」(昔からある計算の道具)でした。電卓のことは全然分かりませんでした。

そのため、珠算部(電卓やそろばんを使って計算するグループ)に入った八島さんは、毎日、何時間も練習しました。学校の休み時間や、家に帰った後もやりました。スマートフォンで手の動き方も撮りました。どのようにしたら、電卓を上手に使えるかを見るためです。

しゆざんぶ ごとうもりよしせんせい (62さい) は「でんたく はじ ねん げつ じゅうだん
珠算部の後藤守克先生(62歳)は「電卓を始めて1年2カ月で十段にな
るのは、すごいことです。まいにち まじめ れんしゅう つづ がんば
と八島さんを褒めました。

しゆざんぶ には20にん います。やしま さくねん がつ ぶちょう (グループでいちばん
うえ ひと) になりました。みんなでたの 楽しく れんしゅう することを、いちばんたいせつ
るそうです。

がつ 26にち とうほく でんたく たいかい があります。この大会でたいかい せいせき よ
ら、らいねん 1がつ ぜんこくたいかい (にほんぜんぶ であるたいかい) に出ることができます。やしま
さんは「ぜんこくたいかい 3い より うえ になることがゆめ です。はや ただ けいさん
るように れんしゅう したいです」とはな しました。



【河北新報社提供】



やってみましょう

ぶんよ 文を読んで、ただ 正しいものに○、ただ 正しくないものに×を書かいてください。

- ① () でんたく つか 試験は、まいとし せかいじゅう 毎年、世界中であります。
- ② () やしま 八島さんは、でんたく 試験で「めいじん 名人」になることができました。
- ③ () やしま 八島さんは、こ 子どものころからよくでんたく つか 電卓を使っていました。
- ④ () とうほく たいかい せいせき よ 東北の大会で成績が良かったら、らいねん ぜんこくたいかい で 来年の全国大会に出られます。



書きましょう

せんだいしょうぎょう 仙台商業 _____ のやしま 八島さんは、 _____ をつか 使った _____ で、にほん 日本で _____ ばん 番になりました。やしま 八島さんは _____ てん 点だったので、「じゅうだん 十段」に _____ ことができました。しゅざんぶ ごとうせんせい まいにち 珠算部の後藤先生は、「毎日、 _____ にれんしゅう 練習を _____ て、よく _____ 」とやしま やしま 八島さんを _____ 。



話しましょう

1. あなたがこうこうせい 高校生ときの時に、いっしょうけんめい 一生懸命頑張ったことは、どんなことですか。
2. あなたはいま 今、どんなことをねっしん 熱心にやっていますか。これからどうなりたいですか。あなたのゆめ 夢おしを教えてください。